

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Ba010M	行事名	平成30年度「電波の日・情報通信月間」記念式典	
行事形式		主催団体	東北電気通信協力会 総務省東北総合通信局	
開催日	平成30年6月1日(金) 11:00～12:00		開催場所	江陽グランドホテル (仙台市青葉区本町2-3-1)
行事参加者数	約270名		WebサイトURL	

行事実施概要・アピール等

【式次第】

- ①主催者式辞: 東北総合通信局長、東北電気通信協力会長
- ②来賓祝辞: 宮城県知事、仙台市長、東北経済連合会長
- ③表彰: 東北総合通信局長表彰(1個人 9団体)、東北電気通信協力会長表彰(1個人、1団体)

【概要】

東北総合通信局との共催で記念式典を開催し、冒頭野田総務大臣からのビデオメッセージが上映されました。少子化・高齢化やこれらに伴う人口減少といった地方をとりまく「静かなる有事」をチャンスと捉え、2030年に実現したい未来の姿から逆算しIoTやAI等のICTを積極的に導入することにより変革を実行していく時期であり、地域へのIoT実装やシェアリングエコノミー等の利活用を総合的に支援していくと述べました。

主催者である伊丹局長から「福島県内の避難指示解除後の避難者の帰還促進、また特定復興再生拠点区域に係る支援(地上デジタル放送、携帯電話やブロードバンド等)、ICT利用環境整備等の施策に取り組んでいく」、また稲木会長からは「かつてITやユビキタス社会と呼ばれる時代は想像の世界と思っていたが、IoTの昨今の状況には目を見張るものがある。協力会メンバーとしては知見の平準化・情報提供活動を図り、全ての方々が未来社会の産物を享受できるようにしていきたい」との式辞がありました。

その後、東北地域において情報通信の発展に貢献のあった2個人、10団体に対し東北総合通信局長及び東北電気通信協力会長から表彰が行われました。

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

